

日
相
東京青山北町
三

目六十八

塚原嘉一郎殿

上海新聞路三十

一學堂宅

殷汝耕

四月五日

おれ

その日は友由年河伏珍所へ追ひ着
衣の節は初成り物家様所へ同機嫌
婦人御宿先被遊り也由伺い力上り也上
海州着は尚も少く度々来へ赴く程定に
いへとも種々作用か出来遂に今日迄
延期は今日中句迄必ず考へ考へ
海南島の開発は度々考へる程程美氏

に任^委一彭氏は海南^{振植}農林礦務局長に任

命^命ずる今^今は本市の點に關し色々出

世話も願^願うす務^務る由^由なる此^此外最^最佳^佳の友

人の關^關心せ^せる優良^{優良}なる石炭^{石炭}礦有^有こ

礦^礦質は其^其煙炭^{煙炭}より礦^礦区^区の面積^{面積}は約^約日

本の百五十^{百五十}英坪^{英坪}地位^{地位}は安徽省^{安徽省}蕪^蕪湖^湖

附近^{附近}交通^{交通}至^至極^極便利^{便利}に由^由座^座る此^此礦^礦山

は^は投資^{投資}の如^如相^相談^談即^即ち^ち日^日下^下種^種々^々計^計

由中、大體の計画出来る。須き、
電信にて、技師の派遣を、
有、此部会、如、
度、此等の件、付、は、固く、一本、
主義、も、守り、
格、う、い、
の方、も、
中、
九、
何、
氏、

代リユ一切の文海も引受可仕
何年 きの冬 振る 技師 古 派 景
さる 用 意 あり きた 水 府 町 上 へ 返 る
は 岩 様 光 山 主 之 何 亞 農 二 人 先
出 返 る 上 下 度 へ 餘 は 役 便 へ 渡 り
先 は 用 可 可 迄 あり

四 月 五 日

般 西 耕

塙 原 左 之